

# 旭が丘小だより

## 自ら正しく行う旭っ子

令和6年1月10日 NO.13

大村市立旭が丘小学校 校長 赤木 章二

### 令和6年がスタートしました！

あけましておめでとうございます。令和6年（2024年）が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今年は辰年です。十二支の中で、実在しない架空の生き物は辰だけです。なぜ、辰が十二支に選ばれたのかは諸説あるようですが、昔の中国では、辰（龍）は非常に力のある霊獣であると考えられていたそうです。昇龍のごとく、勢いよく飛躍する一年になることを願っています。また今年は、十干の始まりである甲（きのえ）の年です。甲辰は、「これまでのコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木のようにすくくと伸びて、努力が花を咲かせる」年になるようです。旭が丘小学校の子どもたち一人ひとりが目標に向かって精いっぱい努力し、素晴らしい一年になるよう励まし、支えていきたいと思っております。3学期も、保護者の皆様のご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



### 新年早々の感動！

これまで、新型コロナウイルス感染症に伴い、全校児童が体育館に集まることができませんでした。4年ぶりに全校児童が一堂に会して3学期始業式を実施することができました。その光景に、やっとコロナ以前に戻りつつあると感じることができ、大変嬉しく思いました。しかし、それにもまして子どもたちの整列の仕方、待つ姿勢、話を聞く態度に感動しました。668名の子どもたちが、誰一人として、おしゃべりをせず、静かに式に参加することができていました。このような雰囲気を作ってくれたのは高学年です。低学年が体育館に集合する10分以上前から、寒い中、冷たい床に座り、静かに姿勢を正して待っていました。その姿のおかげで、後から入場してきた中学年・低学年も倣うことができました。高学年の皆さんに感謝するとともに、これからも下級生に素晴らしいお手本を見せてほしいと願っています。



### もう一つの感動！



3学期始業式の中で、4年1組の横山慎さんが、児童代表として3学期に頑張りたいことや今年の抱負について述べてくれました。ステージに上り、全校児童の前で、堂々と発表してくれました。しかも、原稿を一切見ず、正面を向いて力強く表現していました。その姿に強い感動を覚えました。人前で話すことは、大変緊張します。ましてや全校児童の前となるとなおさらです。きっと、冬休みの間にたくさん練習をしたのだと思います。始業式後に担任に話を聞くと、この代表の言葉にはクラスの中で数名の立候補者がいて、その中から横山さんが選ばれたそうです。本人の原稿をもとに、他の立候補者からのアドバイスを取り入れて、みんなで練り上げた原稿だったそうです。だからこそ、「みんなの分まで精いっぱいやり遂げなければいけない」という思いがあったのだらうと、また感動してしまいました。すばらしい発表のおかげで、自分も頑張ろうという気持ちになった子どもたちが、たくさんいたと思います。素敵な一年の始まりとなりました。

